LCsolution の環境設定

分析に使用する装置構成を変更したり、装置とPCがうまくリンクしない場合に環境設定をやり直す必要があります。

----注記-----

LCsolution で環境設定をする前に、ご使用頂くすべての装置の電源が入っているかご確認下さい。

SPD-M10Avpをご使用の際には、PCの電源より先にSPD-M10Avpの電源をいれてください。 うまく環境設定ができません。(例えば装置1(通常検出器)と装置2(SPD-M10Avp)を同じPCで 制御している時、装置1を分析使用中に装置2の電源を後から入れると環境設定でSPD-M10Avp を認識しないといったことになります。)

環境設定の手順を下記いたします。

 [LC 分析]ウィンドウ左側のアシスタントバーから[環境設定]アイコン をクリックします。(注:SPD-M10Avp をご使用の際には、PC の電源 より先に SPD-M10Avp の電源をいれてください。うまく環境設定がで きません。)



2) 初回環境設定時は、[装置] 画面が表示されます。以前に環境設定がされていれば、下 記[環境設定] 画面が表示されます。その場合は、[分析に使用するユニット]にある[装 置(通信設定)]をダブルクリックすると[装置] 画面が表示されます。

| 環境設定 | ★署(通信設定) |
|---|-----------------------------------|
| 有効なユニット(<u>A</u>) | 分析に使用するユニット(リ) 名重(通信設定) |
| □… ◆ 装置 | □···· ◆ 装置(通信設定) ▲ |
| 🗄 🖓 📅 μούατα | 📥 🛣 Γολάδα |
| 🔜 システムコントローラ | |
| 由 → → → → → → → → → → → → → → → → → → → | |
| 🗄 🍰 オートサンフラ | ዀ オートサンフ ^ゃ ラ : SIL-20A |
| 🕀 🗊 🗊 カラムオーフシ | 🚺 カラムオーフや:CTO-20AC |

[装置]画面で[タイプ](システムコントローラーの種類)[通信] 接続方法の設定を行います。

| 表置名 | /(N): | E 1 | | | | | |
|-----------------|---------------------------------|----------------|---------|---------------------------------|------------------|---------|---------|
| XUNG | 9 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | 1 | | | | |
| <u>۵(</u> ۰ | タイプ | 通信 | 1 | 接続 | 方法 | | |
| 動信: | タイプ | 通信 | COM#*~F | 接続7 | 方法 ∣scsा≭*~ト* | SCSI ID | |
| 動信: 装置 LC | タイプ <u>\$17</u> * CBM-20A | 通信 Ethernet | COM#*~h | 接続7 IP Address 1723124173 | 方法 _scs琳*-⊦* | SCSI ID | SOSI 一覧 |

接続方法の設定は、RS232Cの場合は[COMポート], Ethernetの場合は[IP Address]、 SCSIの場合は[SCSIボード]です。PDAを使用する場合は, PDAの通信方法の設定も 行います。 ----**注記----**CDD-10Avp/sp を接続する場合は、[タイプ]を[SCL-10Asp]に設定して下さい。 そのとき、SCL-10Asp のバージョンが Ver.1(CDD-6Avp/sp 対応)の場合のみ、 [通信]に[RS232C(S)]を選択して下さい。 SPD-M20A は、Ethernet 接続のみです。 SPD-M10Avp は SCSI 接続のみです。

3) [装置]画面で[OK]をクリックすると[環境設定]画面が表示されます。([装置]画面で変更をした場合は、システムコントローラーと接続している装置が自動的に[分析に使用するユニット]ボックスに読み込まれてます。)

| 4) | [環境設定]画面左下 | 環境設定 | 分析に使用するユニット |
|----|-----------------------|---|---------------------------------|
| 1) | [処況設定] 西西王一の「白動設定] ボタ | 有効なユニット(<u>A</u>) | 分析に使用するユニット① |
| | ンをクリックすると、 | □- ◆ 装置 □- ☆ 装置 □- ☆ LOジステム | □- ◆ 装置(通信設定) □- ☆ LC>ステム |
| | システムコントロー | | |
| | ラが認識している装 | □ · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 満 オートサンフ [*] ラ:SIL-20A |
| | 置が自動で[分析に | 田一 □ 17547-772 田一 | |
| | 使用するユニット] | | |
| | ボックス読み込まれ | | |
| | ます。読み込めない | 7@ハ°ティ(E | D |
| | 装置は、[分析に使用 | | |
| | するユニット]ボッ | 自動設定 | |
| | クスヘ手動で登録し | 自動設定① リセット(に) オーディットトレイル(2) | OK キャンセル 印刷(P) ヘルプ |
| | ます。(手動で登録し | | |

たユニットの ROM バージョンは読み込まれないのでご注意ください。)

5) [分析に使用するユニット]で、環境設定を行う装置をダブルクリックします。使用 する装置の環境設定がすべて終了したら,[環境設定]画面の[OK]ボタンをクリック して下さい。

参考:LabSolution/LCsolution 取扱説明書 据付編 p25-28